

2019.12.28

畑 啓之

「中小企業診断士」PR動画で兵庫県診断士協会が最優秀賞 情報を伝え切れたか

3分間という短い時間に動画で中小企業診断士の活躍とその有用性・有効性を訴えるPR動画であり、YouTubeにその動画がアップされている。そのタイトルは「兵庫県中小企業診断士協会」 <https://www.youtube.com/watch?v=W6Daj-iZ7VM>

3分あれば十分な情報を伝えられると一般的には言われているが、この最優秀賞を獲得した動画を見ていて何か物足りなさを感じた。おそらくはこの動画が一般には認知されていない、中小企業診断士とは何であるかのプロトタイプを一般に知らしめるためのものであり、その奥深くにある問題解決に導く過程が示されていないことがその原因であると考えられる。



確かに、3分間ではとても表現できないプロとしての仕事を中小企業診断士は果たしている。このことがわかるのは、実際に中小企業診断士と共に問題解決にあたり、その成果の大きさを実際に体験した企業である。中小企業診断士には守秘義務があるが、成功事例をYouTubeにアップしていれば、中小企業の社会における有用性は高まり、あわせてその認知度も高まるものと考えられる。

神戸新聞 2019.12.28



経営コンサルタントの園が1~5月に募り、8件の参加があった。兵庫の動画は約3分。4月から約1カ月かけてつくった。県内を中心に活動する診断士11人と経営者らが出演した。新事業・商品開発▽合併・買収▽事業承継▽経営診断▽市場調査▽各種支援制度の活用▽などの仕事を紹介し、診断士と経営者が固く手を握る。「企業の難局に共に立ち向かい、存続と発展のため全力を尽くします」のコメントが流れ、11人が勢ぞろいして締めくくる。同協会は「多くの人に診断士の仕事を知ってもらえたらうれしい」と話している。(佐伯竜二)

蛇足であるが、中小企業診断士の資格は取りたい資格ナンバー・ワンである。

<https://wedge.ismedia.jp/articles/-/7838>

(参考) コンサルタントとしての技術士と中小企業診断士 2013年12月03日

https://alchemist-jp.at.webry.info/201312/article_3.html